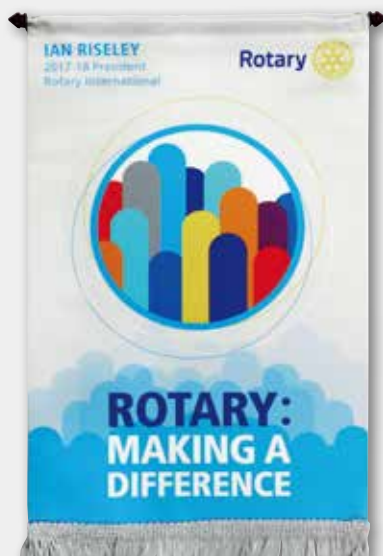




ロータリー：変化をもたらす

Governor's Monthly Letter

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550



国際ロータリー第 2550 地区 ガバナー月信 1月号 January



『富士山頂』

Contents

■ ロータリーの目的	2
■ ガバナーメッセージ	3
■ 職業奉仕月間に因んで	4
■ ガバナー公式訪問だより	5
■ IM(Intercity Meeting) 報告	9
■ 地区委員会並びにクラブだより	10

■ 公共イメージ・会員増強セミナー報告	11
■ 地区内主要行事	11
■ 会員数現況報告	12
■ 表紙説明	12



ロータリーの目的

The Object of Rotary

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1** 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2** 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3** ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4** 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

The 4-WAY TEST

言動はこれに照らしてから

- 1. 真実かどうか？**
ex.顧客に対し、最良の品質・最良の技術を提供しているか？
- 2. みんなに公平か？**
ex.従業員に対し、安全で快適な職場を提供しているか？
- 3. 好意と友情を深めるか？**
ex.業界において公正かつ誠実であり、同業者とともに手を携え、職業倫理の高揚に努めているか？
- 4. みんなのためになるかどうか？**
ex.納入業者に対し、公正で友好的な関係を築いているか？

言行はこれに照らしてから行うべし



ガバナーメッセージ



「職業奉仕月間」によせて

国際ロータリー第2550地区
2017-18年度 ガバナー

太 城 敏 之〔宇都宮東RC〕

新年にあたりロータリアンの 原点を見つめ直す

みなさんご存じのようにロータリーの四大奉仕は「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」で、1月は職業奉仕月間にあたります。新たな年を迎え今一度初心に立ち返り、ロータリアンの原点を見つめ直す意味で、今月は職業奉仕について考えてみたいと思います。

皆様方のお手元にある『手続要覧』には、その最初のページの基本理念の冒頭にこう書かれています。

「職業人が一体となり、スキルと情熱をもって地域社会に変化をもたらしてきたロータリー（以下、略）」

創設者ポール・ハリスがロータリークラブを立ち上げる際のキーワードの一つが「職業人」であり、昔も今も私たちロータリアンはこの職業人を基本に活動しています。

かつてロータリーの基本的原則だった職業分類「一人一業種制度」は近年になって見直され、多様な人々が集う異業種交流会へと進化を遂げていますが、いかに変化しようともロータリーを構成する会員は職業人であることに変わりはありません。

職業奉仕の実践に役立つ、理念と倫理

最近、わが国を含む国際ロータリーの活動を俯瞰すると、社会奉仕や国際奉仕がスタープレイヤーのように注目され、職業奉仕が陰に隠れているように思えてなりません。確かに、社会奉仕や国際奉

仕は世間に対してアピールしやすく、地域の人々の関心や評価も得やすいのは事実ですが、私はこの職業奉仕月間をきっかけに、ロータリーの原点でもある職業奉仕を見直してみたいと思います。

その潮流をたどると、1911年に提唱された職業奉仕の理念に、現代でも通じる職業倫理を見つけることができます。

「He profits most who serves best.」

（最もよく奉仕する者、最も多く報いられる）

私はこの言葉から、ロータリアンの原点ともいえる職業奉仕を重視し、個々のロータリアンの強みや持ち味を生かしつつ、会員相互の互惠関係の強化を図るべきであると考えます。実はこのような考え方は昔からわが国にも存在し、例えば近江商人の商売の極意「三方よし」は広く知られるところです。

以上のような職業奉仕の理念や職業倫理を踏まえつつ、具体的にロータリアンとしての行動を指し示す言葉が、この月信2ページに紹介している「四つのテスト」です。かつて国際ロータリーの会長を務めたハーバートJ. テーラー氏が1932年の世界大恐慌のときに考えたもので、以後、商取引の公正さを測る尺度として多くのロータリアンに活用されてきました。

私自身、ロータリークラブに入会して27年になりますが、この「四つのテスト」を道しるべに「親睦」と「奉仕」に努めてきました。時に経営者としての行動の羅針盤になるなど、自社の経営にも大いに活かしています。会員の皆様方もぜひ、ロータリーの哲学を端的に表現した「四つのテスト」を、職業奉仕の実践に役立てていただきたいと思います。

職業奉仕月間に因んで



職業奉仕月間に因んで

職業奉仕部門
カウンセラー

比 企 達 男

〔宇都宮陽東〕

1920年にR. I. が我国に渡来した当時、米山梅吉氏を中心とする初期の日本のロータリアン達は、英文のロータリー用語を邦訳するにあたり大変苦心された様子が伺われる。Vocational Serviceを『職業奉仕』と訳することになったのもその一例であるが、そもそもこの奉仕部門は、初期のR Iの歴史を見ると‘Vocational Service’にするか、‘Occupational Service’にするかで意見が二分され、激しい議論の結果ポール・ハリスが主張する‘Vocational Service’に決着した経緯がある。‘Occupational Service’を主張したアーサー・フレデリック・シェルドンはその後退会している。

‘Vocational’は『天職』の意味が含まれており、‘Occupational’とは区別されているが、翻訳にあたり不採用となった‘Occupational Service’の方を邦訳し『職業奉仕』となっている。この辺に米山氏達の苦心があったものと推測する。それを補うため定款の『職業奉仕部門』で『専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め……』と謳っている部分を特に強調し、職業奉仕委員会＝職業倫理委員会と受け止められて来たのではないかと推察する。では、現在 Vocational Serviceをその意味を含む邦訳に名訳があるかと言うと、これは難題ある。従ってこのまま、日本では『職業奉仕』で行くしかないのではないかと考える。一方、英語圏、取り分けキリスト教圏では、Vocational Serviceの意味を弁え、倫理は当然含んでいるとの解釈から改めて倫理説を説く必要はなく、

定款の後半の『ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行う』ことに主眼を置くことになっている。国際的な会合で職業奉仕委員会のメンバーが話し合うと互いの論点がずれて、話が噛み合わないこととなると本田博巳PG（前橋 RC）が指摘されている。

以上の事を鑑み、今後の2550地区の職業奉仕部門の活動方針は従来通り「職業倫理を充分弁えた上で、ロータリーの理念に従って各自の事業を行う」ことにより、世界に貢献することを目指したい。

なお、「クラブ定款第6条―2」の全文を、あらためて記載します。

2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと。そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。

つまり、全てのロータリアン、特にシニアロータリアンは、先ず品格を求められています。この品格は、持ち物や服装によるものではなく、長年の人生のうちに培かれるものであり、おかし難い品位が滲み出るものです。（国語辞典・角川）。ましてや、金銭により解決、取得するものではありません。ロータリー活動は修行の道場と言われる由縁です。



ガバナー公式訪問だより



宇都宮 ロータリークラブ

日時10月3日(火)
会場：宇都宮東武ホテルグランデ



会長：印出井 敏英 幹事：飯村 悟 会員数：104名

平成29年10月3日火曜日、宇都宮東武ホテルグランデ6階におきまして、宇都宮クラブ第3216回の例会に太城ガバナー・入江地区幹事、佐伯ガバナー補佐、倉井会計長をはじめたくさんの随行員の皆様をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。

前段では太城ガバナーをはじめ訪問者の皆様と、宇都宮クラブの役員との懇談が行われましたが、ガバナー

からは地区内のロータリー活動の現状や問題点などたくさんの方の有意義な情報をお聞かせいただきました。特に、会員増強の意義につきまちは宇都宮クラブ役員も真剣に考えて対応していかなければならない事項であると痛感いたしました。例会においては、宇都宮クラブのもとで活動する文芸芸大付属高校のインターアクト部の皆さんが文化祭での協力依頼で訪問されていたので、普段に増してにぎやかな雰囲気の中、和やかに公式訪問例会が行われました。ガバナー卓話の中では、ガバナー指針である、チャレンジ&イノベーション ～挑戦と変革で切り拓く、第2550地区の未来～をわかりやすく解説していただき、会員増強の意義や会員全員で取り組むことの大切さをお話いただきました。このガバナー公式訪問を、残り半期の宇都宮クラブの活動の起点としていきたいと感じています。ありがとうございました。



宇都宮南 ロータリークラブ

日時：10月4日(水)
会場：ホテルニューイタヤ



会長：坂本 昭一 幹事：藤島 拓 会員数：53名

10月4日(水) ホテルニューイタヤにて太城ガバナー、若月ガバナー補佐、中村地区会員組織委員長、石島委員、炭田委員、内山委員及び宇都宮東RC随行者4名の総勢10名という多くの方をお迎えしガバナー公式訪問が開催されました。

11時からの会長・幹事懇談会では、当クラブの現況報告書を基に、クラブの運営に対する問題点や会員増強のためには会費の弾力性と、趣味の会の活発な活動も重要である事などご指導をいただきました。

12時30分からの例会では柴崎秀生新入会員へ太城ガ

バナーよりバッジの贈呈が行われました。また、バナー交換のあと宇都宮東RC会員作の素晴らしい書画を頂戴いたしました。

ガバナーの卓話と協議会では、太城年度の最重要目標の「会員増強」について「年内に60人目指して下さい。」と会員増強の方法等についてお話をいただきました。

宇都宮南クラブについて「元気のあるクラブ」と、お褒めの言葉をいただきましたが、5年後、10年後の将来にわたって元気なクラブであるためには「会員増強」が一番重要である事を教えて頂きました。

今後も会員全員で増強に取り組んで参ります。

お忙しい中、公式訪問本当にありがとうございました。



ガバナー公式訪問だより



宇都宮陽北 ロータリークラブ

日時：10月10日（火）
会場：ベルヴィ宇都宮



会長：寺田 美智子 幹事：古矢 幸伸 会員数：33名

10月10日(火)、太城ガバナー、佐伯ガバナー補佐、中村地区会員組織委員長、随員員など6名をお迎えし、例会会場「ベルヴィ宇都宮」においてガバナー公式訪問が執り行われました。

最初に懇談会が行われ、太城ガバナー、佐伯ガバナー補佐他地区会員組織委員、随員員3名、当クラブからは、



寺田会長、古矢幹事、仲田会長エレクト、熊本副幹事、橋本会員増強委員長が出席して、主にクラブ運営や課題、今後の会員増強の目標や必要性について大変活発なご指導を頂きました。懇談会終了後は、定刻通りに例会が始まり、バナー交換、新入会員2名へのバッジの授与式が執り行われました。太城ガバナーの卓話では、会員増強についての豊富な知識を踏まえたお話し、職業奉仕を通じて、会員相互の互恵関係構築についてなど、これまで宇都宮東RCで培った経験や今後のロータリーの変化、動向など、非常に興味深く、今後のクラブ運営に大変参考となるお話でした。

例会終了後は、クラブ協議会に移り、協議会では太城ガバナーを中心とし、各常任委員長より委員会計画を発表し、計画についてのご指摘や、クラブとしての考え方などのヒアリングがあり、当クラブとしても一層の会員増強とともに発展をしていかなければいけないと感じることができた協議会でした。



宇都宮陽東 ロータリークラブ

日時：10月11日（水）
会場：宇都宮グランドホテル



会長：鈴木 修司 幹事：川人 健司 会員数：51名

10月11日(水)、太城ガバナー、若月ガバナー補佐、中村会員組織委員長、会員組織委員会の石島様、炭田様、

内山様、宇都宮東RCから3名の随員員をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。

午前11時から当クラブ会長、幹事、岩村会員増強委員長、橋本ガバナー補佐エレクト、佐貫地区ロータリー情報委員長が参加して懇談会が行われ活発な意見交換が行われました。

その後、宇都宮東RCから藪下様、米山記念奨学生のレモンカムさんが加わり、鈴木会長の点鐘で公式訪問が始まりました。例会では新入会員の広瀬さんの入会式が行われ、先月入会の藪下会員、玉野会員とともにガバナーよりバッジをつけて頂きました。

その後、クラブ協議会へと移りました。太城ガバナーより「来年4月の25周年のおめでたい式典は是非10名増の60名で盛大にお祝いして欲しい」と暖かくも厳しいお言葉を頂きました。太城ガバナー有り難うございました。





ガバナー公式訪問だより



宇都宮西 ロータリークラブ

日時：10月19日（木）
会場：宇都宮東武ホテルグランデ



会長：須賀 英之 幹事：鈴木 徳郎 会員数：82名

10月19日（木）宇都宮東武ホテルグランデにおいて、太城ガバナー、佐伯ガバナー補佐、地区委員の方々計9名をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。

例会に先立って開催された会長幹事懇談会では、会員増強、インターネットの活用、ローターアクトクラブの設立構想、現況報告書についてのご指導を頂きました。

例会では、ガバナーに新入会員3名に対して入会エ

ンブレムと世界大会記念バッヂを、マルチプル・ボールハリスフェロー表彰、RLI委嘱状、RLIパートI修了書を、それぞれ授与して頂きました。ガバナー卓話では、「チャレンジ&イノベーション」をテーマに、10年後を見据えてクラブが変化する事の重要性、ロータリーの原点は職業奉仕にとのお話がありました。

クラブ協議会では、各委員長より活動方針・活動計画が発表され、ガバナーからご質問やご助言を頂きました。

次年度は当クラブの伊東ガバナー年度となります。太城ガバナーの貴重なアドバイスを、今後のクラブ運営に活かしてまいります。



宇都宮90ロータリークラブ・ 宇都宮90結ロータリー衛星クラブ

日時：10月23日（月）
会場：宇都宮東武ホテルグランデ



会長：塩井 賢一 幹事：関 明彦 会員数：56名

10月23日（月）太城敏之ガバナー、佐伯秀利ガバナー補佐、会員組織委員の徳原様、内山様、湯沢様、随同行の2名の方々をお迎えして、ガバナー公式訪問が開催されました。午前11時より、塩井会長、関幹事、柏田増強委員長、会長エレクト、幹事エレクトが出席して懇談会が行われました。現況報告書・事前報告書に基づき、太城ガバナーからクラブ内親睦活動の大切



さ、会員増強に対する方法・アドバイスを頂きました。

例会ではバナー交換が行われた後、太城ガバナーより卓話を頂き「2020作戦」・90RC、衛星クラブの益々の会員増強、ローターアクトの新設等様々なアドバイスを頂き、また例会終了後のクラブ協議会では各委員長より活動方針・事業計画が発表され、ガバナーより貴重なアドバイスを頂き、今後のクラブ運営に活かして参ります。太城ガバナーには大変忙しいところご来訪いただき、会員一同感謝申し上げます。

き、また例会終了後のクラブ協議会では各委員長より活動方針・事業計画が発表され、ガバナーより貴重なアドバイスを頂き、今後のクラブ運営に活かして参ります。太城ガバナーには大変忙しいところご来訪いただき、会員一同感謝申し上げます。



ガバナー公式訪問だより



宇都宮さつき ロータリークラブ

日時：10月23日（月）
会場：コンセーレ



会長：武田 文夫 幹事：児玉 博利 会員数：26名

2017年10月23日（月）、例会場のコンセーレにおいて、太城敏之ガバナー、若月章男第3グループBガバナー補佐、随員として、宇都宮東ロータリークラブメンバーをお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。

17時00分より、当クラブ武田文夫会長、児玉博利幹事、湯澤敦史会長エレクトを交えて、会長・幹事懇談会が90分間行われました。当クラブ現況報告書やクラブ棚卸マニュアルをもとに、心温まるご指導をいただきました。

18時30分から、当クラブ全員の歓迎の拍手を受けながら例会場に入場され、会長点鐘により公式訪問例会が始まりました。バナーの交換をして、ガバナー卓話となりました。卓話は、今年度の地区方針に従い、ガバナーの考え方をわかりやすくお話しされました。特に会員拡大に対しての思いを強く感じ、メンバー一同改めて取り組むべき課題であると認識しました。

その後、本年度クラブ事業計画について、各委員長から報告があり、ガバナーから講評をいただきました。そして、記念撮影をして、公式訪問が終了となりました。宇都宮さつきロータリークラブ会員一同、心から感謝申し上げます。



宇都宮東 ロータリークラブ

日時：10月31日（火）
会場：ホテルニューイタヤ



会長：田嶋 章夫 幹事：片嶋 常隆 会員数：121名

太城ガバナーの所属クラブであります宇都宮東RCが、公式訪問最後のクラブです。

10月31日（火）、太城ガバナー、若月ガバナー補佐、地区会員組織委員の皆様をお迎えして、ホテルニューイタヤにおいて行われました。

田嶋会長、五味渕会長エレクト、片嶋幹事、手塚会員増強委員長を交えた懇談会では、会員増強のアドバイス、当クラブの問題点などをご指摘いただき、これか

らのクラブ運営について有意義なお話を頂戴しました。

例会でのクラブ協議会では、田嶋会長からクラブの現況報告の後、太城ガバナーから改めて会員増強の重要性についてお話をいただき、クラブとしても決意を新たにいたしました。

協議会終了後は、懇親会に移り、地区関係行事の御疲れ様と称し、地区チーム研修セミナー・会長エレクト研修セミナー・地区研修協議会・地区大会のそれぞれの実行委員長より挨拶が有り、準備を含めると一年以上におよんだ地区関連行事への労をみんなでねぎらいました。

太城ガバナーを中心として当クラブの会員が一つにまとまり、結束し、充実した一年となりました。





IM (Intercity Meeting) 報告

第7グループIM

インターシティミーティング



日光



鹿沼



今市



鹿沼東



鹿沼あわの



鹿沼中央



今市きぬ

ガバナー補佐 五月女 久和 (今市)

小春日和の11月26日(日)、約100名の方の参加をいただき、鬼怒川温泉ホテルにおいて第7グループのIM(インターシティミーティング)が開催されました。

今回のIMでは、参加者全員で12時から昼食のバイキングを食べることから始まりました。それぞれ好みの食事を選びながら会員同士が交流する姿を伺うことが出来ました。

13時30分より今市RCの八木澤享一会長から歓迎の挨拶、五月女久和ガバナー補佐からの主催者挨拶などセレモニーを行い、記念講演へと移ります。

記念講演といたしまして、全国の社寺建築に携わる、^{かざり} 鋳金物を企画、製作、取り付けまで一貫して行っている鋳金具職人の鈴木正男様をお招きして「継承・伝統・文化・事業そして家族」と題しましてお話いただきました。鈴木様のご厚意により国宝の鋳金具まで展示して頂き、参加者が手に取って繊細な作品を間近に見ることが出来ました。

15時20分より本年度の重要課題でもある会員増強について意識を高めるために、新入会員認証書を執り行い、新入会員5名の紹介をすることが出来ました。ガバナー補佐からロータリーのテーマバッジを授与され、



それぞれ新入会員から挨拶をいただきました。

引き続き各クラブ会長から活動報告および会員増強についてお話をいただきました。

五月女ガバナー補佐の総評の後、次年度ガバナー補佐の八木修一様からご挨拶をいただき、滞りなくIMを閉会することが出来ました。

参加されたロータリアンの皆様に感謝申し上げ報告とさせていただきます

グループクラブ

日光・鹿沼・今市・鹿沼東・鹿沼あわの・
鹿沼中央・今市きぬ

7RC在籍会員数 (212人)



「国宝」出雲大社御本社本殿仕様
「御神紋金具」

地区委員会並びにクラブだより

『学び・考え・行動する』をテーマに 学びの第41回RYLAセミナーを開催

地区RYLA委員会 委員長 中野 智之〔宇都宮南〕

今回で41回を向かえるRYLAセミナーを2017年11月3日（金）～11月5日（日）、鹿沼市ニューサンピア栃木にて開催いたしました。今年の受講生は31名になりました。受講生をご推薦いただきましたスポンサークラブの皆様には、心より感謝申し上げます。

RYLAセミナーは地区によってさまざまな特色がございます。当地区では、講演を聴くだけでなく、『学び・考え・行動する』参加型のセミナーを開催しております。初日は「ロータリーについて」の講演からスタートです。そ

して、リーダーとしての質的な向上を目指して、プロのアナウンサーによる「話し方講座」、同年代のライラリアン（ライラセミナー卒業生）による「基調講演」、ロータリアンとの交流を深める「炉辺会合」、スポーツ研修「フットサル」を行いました。

2日目は「模擬国連」、「組織コミュニケーションゲーム」などのコミュニケーション能力向上のプログラムを行いました。最終日には、「グループ別ディスカッションの成果発表」、「1分間スピーチ」などのプレゼンテーション能力向上のプログラムを行いました。

また当地区は、社会人や学生だけでなく、米山記念奨学生や、ローターアクトが一同に会し、セミナーを受講します。様々な分野に所属する若者が交流を深めることで、日常では体験できない「多様性」が学べる場でもあると考えています。

6月初旬には、高校生RYLAセミナーを企画しております。多数のご推薦をいただけますようよろしくお願いいたします。



渡良瀬杯少年少女野球大会を支援



足利わたらせロータリークラブ主催の第36回渡良瀬杯少年少女野球大会が、市内12チーム・240名が参加して平成29年11月3日行われました。大好きな野球ができることに感謝し「ありがとうのキャッチボール」をしようと真尾進一会長があいさつし、熱戦が繰り広げられました。2日目の午後からは普段試合に出られない小学校低学年が行う「オレンジボール」という簡易野球大会では、小さい子供たちが一生懸命にそして楽しそうにプレーする姿は感動ものでした。

また来年もぜひ子供たちの喜ぶ姿を観てみたいと思います。

青少年奉仕委員長 新保 卓也〔足利わたらせ〕



公共イメージセミナーおよび会員増強セミナー報告

「公共イメージと会員増強の今後のあり方を考える」実りあるセミナーでした。

地区クラブ奉仕委員会 委員長 吉成 慶司〔黒羽〕

去る11月26日（日）、午後2時より宇都宮グランドホテルに於いて、公共イメージおよび会員増強セミナーが地区クラブ奉仕委員会の主催により開催されました。

まず、最初に遠方の岩手県二戸からお越しいただきました国際ロータリー第1ゾーン公共イメージコーディネーター補佐をつとめる小野寺則雄様（2012～13第2520地区ガバナー・二戸ロータリークラブ）より公共イメージについてのお話をいただきました。その中で、公共イメージの重要性として「可視性が高まる」「会員増強と寄付の増加」「パートナーシップと地元からの支援」「会員の積極性が向上」の4項目がリンクすることによって、何よりもロータリークラブが地域社会に溶けこみ、認知度の向上により会員増強が図れることを強

調されました。また、地区やクラブ単位で公共イメージを考えるだけではなく、各ロータリアンが日常的に行動、言動、さらには職業奉仕などを通じて、地域社会に高潔な存在として浸透すれば、それが最も会員増強につながり広告塔の存在になるともお話しされました。

引き続き太城敏之ガバナーより、これからの社会の変化について数値に基づいたお話がありました。また、会員増強について第2550地区の会員数の現状と今後のあり方を鋭く指摘されました。今、30～40代の若い方々をロータリークラブに入会させなくては、やがて限界集落的なクラブができはじめ、具体的な奉仕活動が不能になると、その必要性を鼓舞されました。

3時間という限られた時間でしたが、出席者全員が納得する実りあるセミナーでした。



地区内主要行事

2018年

2月	4	日	第3回諮問委員会	宇都宮グランドホテル	ガバナー事務所
	4	日	第2回地区運営委員会	宇都宮グランドホテル	ガバナー事務所
	4	日	第1グループ IM	いとう家	
	4	日	2018-19 第4回ガバナー補佐研修会		ガバナー事務所
	11	日	2018-19 財団補助金管理セミナー並びに研究会	宇都宮グランドホテル	地区ロータリー財団委員会
	12	月	米山修了生終了式・歓送会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
	17	土	2018-19 地区チーム研修セミナー	宇都宮グランドホテル	ガバナー事務所
	17	土	第5グループ IM	小山グランドホテル	
	17	土	意義ある業績賞選考委員会		ガバナー事務所
	17	土	2018-19 第5回ガバナー補佐研修会		ガバナー事務所
	24	土	第3グループAB IM	宇都宮グランドホテル	
	24	土	第9グループ IM	サンルート佐野	
	25	日	高根沢ロータリークラブ30周年記念式典		高根沢RC
	25	日	第6グループIM	栃木サンプラザ	
3月	11	日	2018-19 会長エレクト研修セミナー PETS	宇都宮グランドホテル	ホスト：宇都宮西RC
	17	土	第8グループ IM	蓮岱館	
	25	日	第4グループ IM		
	27-30	火・金	インターアクト海外研修	台湾	
4月	8	日	2018-19 地区研修・協議会	宇都宮短期大学	ホスト：宇都宮西RC
	14	土	宇都宮陽東ロータリークラブ25周年記念式典	宇都宮グランドホテル	宇都宮陽東RC
	15	日	米山新奨学生・カウンセラー対象オリエンテーション	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
6月			第16回高校生RYLAセミナー		地区RYLA委員会
	17	日	米山2018年度第1回地区委員会・奨学生卓話研修会	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会

会員数現況報告(11月分)

分 区	クラブ名	会 員 数								
		7月1日	11月末	入会	退会	通算増	通算減	増減	うち40歳未満	内女性会員
第1グループ	大田原	25	26	0	0	1	0	1	0	1
	黒磯	37	38	0	0	1	0	1	2	2
	西那須野	42	45	1	0	3	0	3	0	3
	黒羽	9	10	0	0	1	0	1	1	0
	那須	9	10	0	0	1	0	1	0	2
	塩原	8	8	0	0	0	0	0	0	3
	大田原中央	22	23	0	0	1	0	1	1	1
第2グループ	鳥山	15	16	0	0	1	0	1	0	2
	氏家	23	25	0	0	3	1	2	0	2
	矢板	14	15	0	0	1	0	1	0	3
	馬頭小川	22	23	0	0	1	0	1	0	0
	高根沢	15	15	0	0	0	0	0	0	0
第3Aグループ	宇都宮	104	104	0	0	4	4	0	1	1
	宇都宮西	78	82	1	0	4	0	4	3	0
	宇都宮北	48	49	0	0	1	0	1	1	0
	宇都宮90(宇都宮90結：衛星)	45	44	0	0	0	1	-1	1	3
	宇都宮90(結：衛星)	8	12	1	0	4	0	4	2	5
第3Bグループ	宇都宮陽北	31	33	0	0	2	0	2	2	3
	宇都宮東	116	121	1	0	8	3	5	2	0
	宇都宮南	52	53	0	0	3	2	1	1	3
	宇都宮陽東	48	51	0	0	3	0	3	2	8
	宇都宮陽南	20	23	0	0	3	0	3	2	7
第4グループ	宇都宮	23	26	0	0	3	0	3	3	3
	真岡	52	57	0	0	5	0	5	2	0
	益子	34	35	0	0	2	1	1	0	3
	真岡西	36	37	1	0	1	0	1	2	5
	しもつけ	30	32	0	1	3	1	2	2	7

分 区	クラブ名	会 員 数								
		7月1日	11月末	入会	退会	通算増	通算減	増減	うち40歳未満	内女性会員
第5グループ	小山	28	28	1	0	2	2	0	0	1
	小山南	20	20	0	0	0	0	0	1	4
	小山東	24	25	0	0	1	0	1	0	0
	小山北	20	19	0	0	0	1	-1	2	0
	小山中央	28	27	0	0	0	1	-1	0	2
第6グループ	栃木	45	47	1	1	3	1	2	0	2
	栃木西	26	29	0	0	3	0	3	0	1
	王生	21	22	0	0	1	0	1	0	3
	栃木南	34	36	0	0	2	0	2	0	9
	日光	22	23	0	0	1	0	1	0	6
第7グループ	鹿沼	55	56	0	0	1	0	1	3	1
	今市	39	42	1	0	3	0	3	0	0
	鹿沼東	34	35	0	0	1	0	1	2	3
	鹿沼あわの	7	9	0	0	2	0	2	1	2
	鹿沼中央	21	21	0	0	0	0	0	0	1
第8グループ	今市きぬ	26	27	0	0	1	0	1	0	0
	足利	33	35	0	0	2	0	2	2	0
	足利東	51	51	0	0	0	0	0	1	7
	足利西	11	11	0	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	30	31	0	0	1	0	1	0	0
第9グループ	佐野	60	61	0	0	2	1	1	0	0
	葛生	35	38	1	0	3	0	3	0	0
	田沼	43	43	0	0	0	0	0	2	0
	佐野東	21	22	0	0	1	0	1	0	2
	岩舟	10	11	0	0	1	0	1	0	0
51RC(衛星クラブ)		1710	1782	9	2	91	19	72	44	111



表紙写真説明

第5回「宇東写真」写真展出品作品

『富士山頂』

撮影：太城 敏之（宇都宮東）

雄大なる富士山頂。刻々と昇る陽をあびて姿を現す山肌は、圧倒される感動である。仕事の合間をみての撮影行である。このチャンスが再び来るのを待っている撮影スポットです。



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒320-0826 宇都宮市西原町142

宇都宮グランドホテル内

TEL.028-651-2550 FAX.028-651-2551

Email m2550@agate.plala.or.jp URL <http://www.rid2550.com/>